

第4代松浦市消防団長就任

志水正信さん

志水正信さん（福島・播磨釜）が、1月1日付けで第4代松浦市消防団長に就任しました。

志水さんは、昭和55年1月に福島町消防団に入団以来、班長、部長、分団長、副団長を歴任し、地域住民の安心安全のために活躍されました。

平成18年1月からは、新市誕生に伴い新たな松浦市消防団の副団長として、団の運営と発展に尽力され、これまでに培われた知識と経験、信頼のもと新団長として任命されました。

志水さんは、1月7日の消防出初式の中で「松浦市消防団の伝統を築いてこられた先輩たちの意志に背くことがないよう、わが身を捨てて努力していく覚悟です」と団長としての決意を述べました。



防火・防災への意識を新たに

松浦市消防団

松浦市消防団（志水正信団長）の消防出初式が1月7日、文化会館で開催されました。

式には市内の消防団員など約650人が参加。新入団員への辞令交付や、永年勤続者・消防協力者の表彰などが行われました。

式の中で志水団長は、「市民の生命・財産を守るため、地域防災の要として一層の努力を期待します」と訓示しました。式後の市中分列行進では、団員たちが中央公園から志佐川の庄野橋まで行進した後、消防車両14台で一斉放水を行い、防火・防災への意識を新たにしました。



百歳おめでとうございます！

12月に市内では新たに2人が100歳の誕生日を迎えました。

12月14日に100歳の誕生日を迎えた松田ヨシノさん（福島・福崎）。昭和22年に炭鉱経営（城山炭鉱）のため福島町にご夫婦で移り住まれました。松田さんは料理が得意で、伊万里市までよく食材を買いに行ったそうです。現在は入所中のグループホームねん輪で朝から体操したり、レクリエーションに参加したりと常に体を動かし、また、テレビが好きで韓国ドラマや大河ドラマ



▲松田ヨシノさん

松田ヨシノさん・松屋マツさん

マを好んで見ているそうです。

12月29日には、松屋マツさん（今福・人柱）が入院中の伊万里松浦病院で100歳の誕生日を迎えました。松屋さんは炭鉱作業員であったご主人を専業主婦として支え、5人の子どものしつけには厳しかったそうです。現在は歩行は困難ですが、会話を楽しみながら元気に過ごされています。

100歳を迎えたお二人は、それぞれに家族や関係者に囲まれながら、温かな祝福を受けていました。



▲松屋マツさん

気持ちを新たに

武道始め式

平成 27 年松浦市武道始め式が 1 月 12 日、武道館で開催されました。

新春の決意を新たにし、武道の繁栄と青少年の健全育成を目的に行われています。

式には、柔道・空手道・剣道・なぎなたなど 7 競技の選手や指導者ら約 80 人が参加し、気迫のこもった演武を披露しました。

参加者を代表し剣道競技の吉浦悠君（志佐小 5 年）が「今年は羊年。メーと言うようにしっかりと面を決めていきたい」と抱負を述べました。



仲間の気持ちをつなぎます

第 61 回福島町一周駅伝大会

毎年恒例の福島町一周駅伝大会が 1 月 11 日、8 区間 23.97^キのコースで開催されました。

大会には、市内外から 17 チームが参加。選手たちは、沿道の声援を受けながらたすきをつなぎ、健脚を競いました。

上位の結果は、次の通りです。

【町内地区】

- ①日の浦 1 時間 34 分 10 秒
- ②鍋 串 1 時間 34 分 25 秒
- ③浅 谷 1 時間 35 分 03 秒

【高校生】

- ①有田工業高校駅伝部

【特別賞<オープン>】

- ①松浦消防



国内交流で雪国の暮らしを体験！

ホークス交流事業・生徒学習交流事業

【ホークス交流事業】

・小学生が北海道鷹栖町を訪問

1 月 4 日から 8 日にかけてホークス交流事業訪問団が北海道鷹栖町を訪問しました。

ホークス交流事業での鷹栖町への児童派遣は平成 8 年から実施しており、今回で 19 回目。今回は、鷹島小の吉住香乃さん、熊本光希君、志佐小の太田諒君、吉浦悠君の 4 人が参加しました。子どもたちは、ホームステイや鷹栖町内の児童と雪の中で交流会、本田技研の見学、スキー体験などを通して鷹栖町民との交流を深めました。



【生徒学習交流事業】

・中学生が長野県木曾町を訪問

1 月 16 日から 19 日にかけて生徒学習交流事業として市内の中学生が長野県木曾町を訪問しました。

生徒学習交流事業は、平成元年から実施しており、今回で 26 回目。今回は、福島中学校の志水樹さん、金子志乃舞さん、豊川みなみさん、吉田康陽君の 4 人が参加しました。生徒たちは、ホームステイや木曾町内の見学、そば打ち体験、スキー教室などを通して木曾町民との交流を深めるとともに、御嶽山を望む太陽の丘公園で献花を行い、昨年の噴火の犠牲者に黙とうを捧げました。

